

# 防災公園の機能確保に関する対策【国土交通省】

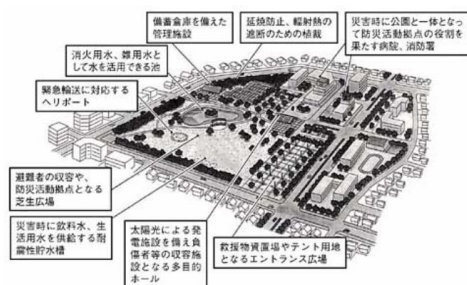
**施策概要** 地震災害や風水害等の多様な災害に対応した防災公園を整備

**効果** 災害発生時の避難地、防災拠点としての機能を確保

## 全国的な対策と効果

**対策** 災害時に避難地や防災拠点となる防災公園を整備(128箇所の都市公園の整備が完了)

防災公園のイメージ



## 5か年加速化対策の効果



運動施設の整備により、災害時における物資の集積・配送拠点が確保された。



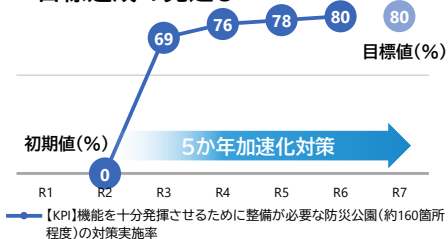
運動施設の整備により、災害時における住民の避難場が確保された。

## ■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
141億円	83億円	66億円
R6	R7	累計
72億円	93億円	455億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

## ■ 目標達成の見通し



## 効果発揮事例

# 防災公園の整備により、災害時の避難所や防災拠点を確保する



佐賀県武雄市



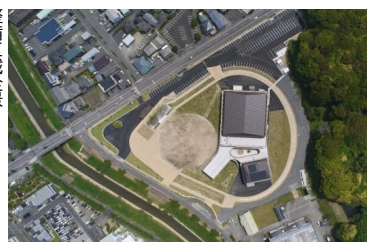
佐賀県武雄市  
(白岩運動公園)



白岩運動公園整備事業

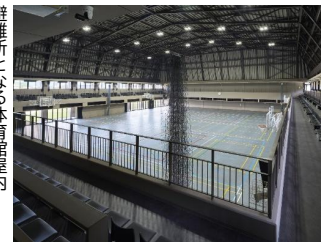
## ■ 防災公園の整備

整備区域全景



収容可能な避難者数や駐車可能な台数が増加

避難所となる体育館屋内



令和6年台風10号の際に避難所として避難者を受け入れ



平時の市総合防災訓練の様子

## ■ 事業費

23億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)19億円)

## ■ 事業の背景(地域の課題)

白岩運動公園は、武雄市内で唯一の運動公園であるとともに、災害時の地域防災拠点であり、警察・消防・自衛隊の部隊の展開、宿営等の拠点となっています。本公園内の体育館については、主に支援物資集積所の機能等を有していますが、昭和50年に建設され、新耐震基準以前の設計であるため、新耐震基準への適合対策が求められていました。また、大競技室床や入口スロープの沈下、更衣室壁面のクラックなど、老朽化も著しい状態でした。

## ■ 事業の内容

地域防災拠点施設としての機能向上のため、自衛隊等の活動に資するための駐車スペースや広場及び園路の整備と体育館の建替えなど、防災公園としての白岩運動公園の再整備を実施しました。

- ・災害時の避難可能人数0人→500人
- ・災害時救助・救命活動支援車両駐車可能台数58台→270台

## ■ 効果

令和6年8月28日の台風第10号において武雄市民体育館に避難所を開設したところ、29名の避難者がありました。避難所の空調設備により、避難所において熱中症などの体調不良は発生しませんでした。平常時は市総合防災訓練の会場として、自衛隊による給食支援や入浴支援等の訓練を実施しています。また、避難所運営マニュアルの策定(策定主体:武雄市防災・減災課)により、迅速な災害対応を実施することで、災害時の避難所運営対応を高度化しました。

(1) 1  
人命財産の被害最小化  
激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

2  
交通・インフラの維持  
インフラの老朽化対策

(1) 3  
施策のデジタル化  
国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 災害関連情報の高度化